Express5800/R125k-2M
ご使用時の注意事項

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用にあたり、ご注意いただきたいことがあります。誠におそれ入りますが、ご使用前に下記内容を必ずご一読ください。
なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

◇ Index

1) はじめに
2) 装置起動時に関する注意事項
3) iLO6 の機能に関する注意事項
4) OS に関する注意事項
5) 全般の機能に関する注意事項

1) はじめに

● 本製品のマニュアルについて

本製品に関する詳細は、以下の Web サイトに掲載しているマニュアルに記載しています。
https://www.support.nec.co.jp/
(「NEC サポートポータル内検索」より、「3170103154」を検索)

また、ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)/エクスプレス通報サービス(MG)に関しては、
ESMPRO 日本語ポータルサイト https://jpn.nec.com/esmsm/
NEC サポートポータル https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124
の最新の情報およびバージョンを確認し、利用してください。

● Starter Pack について

本製品で使用する Starter Pack は、以下の Web サイトに最新版が掲載されています。
Web サイトに掲載されている内容を確認し、バージョン S8.10-015.01 以降を適用してください。
https://www.support.nec.co.jp/
(「NEC サポートポータル内検索」より、「Starter Pack Version S8.10-015」を検索)

● VMware ESX のドライバー・サービスモジュールについて

本製品で使用する VMware ESX のドライバー・サービスモジュールは、以下の Web サイトに最新版が掲載されています。
Web サイトに掲載されている内容を確認し、適切なバージョンを適用してください。

・Agentless Management Service および iLO Channel Interface Driver
https://www.support.nec.co.jp/
(「NEC サポートポータル内検索」より、「Agentless Management Service」を検索し、【最新版】と表示される「iLO6 FW X.XX 以上専用 Agentless Management Service および iLO Channel Interface Driver (VMware ESX 9.x 版)」を適用してください。
(*) X.XX は任意のバージョン、x はバージョン系列を示します。)

・MegaRAID ユーティリティ(StorCLI)
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
(「PC サーバ/ブレードサーバ(Express5800 シリーズ)」の「MegaRAID ユーティリティ(StorCLI)」から対象 OS と対象 Starter Pack の「MegaRAID ユーティリティ(StorCLI)」を選択)

・VMware ESX デバイスドライバ
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866
(「PC サーバ/ブレードサーバ(Express5800 シリーズ)」から対象 OS の「デバイスドライバ一覧」を選択)

● **本製品の保守作業時間に関して**

本製品は、障害発生時などの保守作業において、保守部材と搭載ファームウェア、ドライバーの組み合わせによっては保守作業に時間を要する場合があります。

2) 装置起動時に関する注意事項

● **「Memory Initialization - Start」のメッセージでPOST停止した場合の対処について**

本体装置の電源投入後、まれに「Memory Initialization - Start」のメッセージを表示し、POST停止することがあります。本事象発生時は、以下の手順で復旧してください。

① 本体装置前面のPOWERスイッチ(または、iLO Webインターフェイスにある Power アイコン)を4秒以上長押しして、本体装置の電源をオフにします。
② 本体装置前面のPOWERスイッチ(または、iLO Webインターフェイスにある Power アイコン)を押して、本体装置が正常に起動することを確認してください。
③ 再度「Memory Initialization - Start」のメッセージで停止する場合は、システムメンテナンススイッチSW6にて、システム設定をデフォルトに戻し、正常に起動することを確認してください。(*)
SW6 の操作手順については、メンテナンスガイドの「7.4 システム設定情報の初期化」>「7.4.2 システムメンテナンススイッチの操作手順」を参照してください。

(*) システム再起動後にSerial Number、Product IDが消失している場合は、メンテナンスガイドの「5.トラブルシューティング」>「5.11補足事項」>「Serial Number、Product IDが消失してしまった」の項目を参照し、Serial Number、Product IDの復旧を行ってください。

事象発生時のPOSTメッセージ

```
NEC Express5800 System BIOS AXX vY.ZZ (mm/dd/yyyy)
Early system initialization, please wait...
ABL Debug Log Disabled
Memory Initialization - Start
```

3) iLO6の機能に関する注意事項

● **iLOの再起動を行う場合の注意事項**

以下に示すタイミングにおいては、iLOの再起動(*1)を行わないでください。
・サーバー起動からOSの起動完了までの間(POST実行中も含む)。
・システムユーティリティの操作途中。

(*1) システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での設定変更後のiLOの再起動については、本書の「**システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項**」を参照して操作してください。

該当タイミングでiLOの再起動を行うと、予期しない動作を引き起こす可能性があります。
例えば、POST実行中にiLOの再起動を行うと、iLO Webインターフェイスの「Information > Overview」ページにおけるUUID、UUID (論理)の表示が不正な値となる場合があります。また、システムユーティリティの設定変更などの操作の途中でiLOの再起動を行うと、直後のシステム再起動処理(Reboot)で「Memory Initialization - Start」のメッセージで停止する場合(*2)や、本体装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報が消失してしまう場合(*3)があります。
もし上記のような不正な表示や動作が発生した場合は、一度本体装置の電源をオフにし、再度オンにしてください。本体装置の電源オフ/オン後も再発する場合は(*2)、(*3)に従って復旧してください。
<対象となるiLOの再起動の方法>
・iLO Webインターフェイスなどを利用したネットワーク経由でのiLOの再起動。
・UIDスイッチを使用したiLOの再起動。

(*2) システムメンテナンススイッチ SW6 にて、システム設定をデフォルトに戻し、正常に起動することを確認してください。SW6 の操作手順については、メンテナンスガイドの「7.4 システム設定情報の初期化」>「7.4.2 システムメンテナンススイッチの操作手順」を参照してください。
(*3) メンテナンスガイドの「5.トラブルシューティング」>「5.11補足事項」>「Serial Number、Product IDが消失してしまった」の項目を参照し、Serial Number、Product IDの復旧を行ってください。

● **iLO のダウングレードポリシー機能の注意事項**

iLO の拡張ライセンスがインストールされている場合、「Security > Access Settings > Update Service > Downgrade Policy」の設定を**[Permanently disallow downgrades]に変更しないでください。**
[Permanently disallow downgrades]に設定した場合、ファームウェアのダウングレードを行うことができなくなります。また、本設定は一度設定を行うと永続的に保持されるため、「Set to factory defaults」から iLO を出荷時のデフォルト設定に戻しても、その他の iLO の各種インターフェイスや各種ユーティリティから設定変更を試みても、[Permanently disallow downgrades]の設定は維持されたままになります。

● **iLO Web インターフェイスのセキュリティアイコンに関する注意事項**

RBSU の設定や iLO の設定内容によって、iLO Web インターフェイスの「Information > Security Dashboard」および画面右上のセキュリティステータスにリスク(赤色)が表示される場合があります。
表示されるリスクの内容を確認し、お客様のセキュリティポリシーに応じてセキュリティの対処を行ってください。
推奨値などの詳細については、iLO6 ユーザーズガイドを参照してください。
ただし、[Require Host Authentication]設定については、本書内の**「iLO Web インターフェイスの[ホスト認証が必要]設定における注意事項」**に記載がありますので、確認してください。

iLO の負荷の状態により「Information > Security Dashboard」の「全体セキュリティステータス」が『リスク』であっても、iLO Web インターフェイス画面の右上部の「iLO セキュリティ」アイコンが無色になる場合があります。
「Information > Security Dashboard」の「全体セキュリティステータス」が現在のセキュリティ状態を示します。

● **ネットワークブリッジ構成時の iLO Web インターフェイスのネットワーク情報の表示について**

ネットワークをブリッジ構成で使用する場合、iLO Web インターフェイスの「Information > Network > Physical Network Adapters」に表示される内容が OS 上の内容と一致しない場合があります。ブリッジ情報の詳細は、OS 上のネットワークアダプターのプロパティで確認してください。

● **iLO Web インターフェイスの[ホスト認証が必要]設定における注意事項**

「Security > Access Settings > iLO」にある[ホスト認証が必要/Require Host Authentication]を[有効]に設定しないでください。

[有効]に設定を行った場合、次に示す状況が発生します。
- ESMPRO/ServerManager のアラートビューアに、「Remote Insight/Integrated Lights-Out 認証されないログイン試行検出」のメッセージが多数表示されます。
- Starter Pack (Standard Program Package)を適用するとエラーが発生します。

また、次のサービスや機能を利用できません。
- エクスプレス通報サービスにおいてハードウェア障害に関する通報
- RAID 通報サービス
- サーバ診断カルテのハードウェア診断機能
- iLO が収集するハードウェアに関するデバイス情報や設定情報の参照、およびイベントログ採取機能

NIST SP 800-193 運用環境を構築される場合は、以下の URL に掲載された運用手引きを参照し、OS 環境構築後、NEC iLO アカウント登録ツールをインストールの上、[有効]に設定するようにしてください。

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=3140109677
参考資料：NEC Express5800 /NX7700x シリーズ NIST SP 800-193 準拠 運用構築手引き

● **iLO Web インターフェイスの Agentless Management Service (AMS)のステータスについて**

iLO Web インターフェイスの「System Information > Summary > Subsystems and Devices」の Agentless Management Service (AMS)のステータスにおいて、ステータスが「不明」(または「利用不可能」)(*)と表示されている場合は、iLO の再起動を実施してください。その後、10 分程度経過してから、以下の Agentless Management Service (AMS)の再起動方法に従って、Agentless Management Service (AMS)を再起動してください。

<Agentless Management Service (AMS)の再起動方法>

・Windows の場合

「Windows の管理ツール > サービス」で「Agentless Management Service」を右クリックし、再起動してください。

・Red Hat Enterprise Linux 9.x の場合

以下のコマンドを実行します。

```
# systemctl restart smad
# systemctl restart amsd
```

・VMware ESX 9.x の場合

以下のコマンドを実行します。

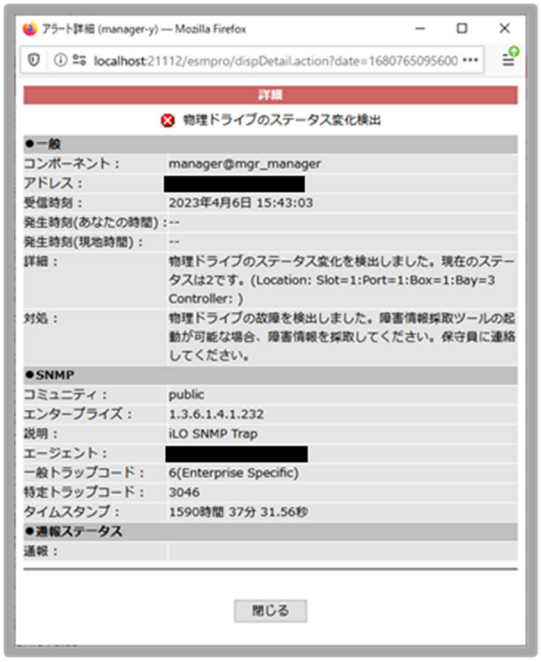
```
# /etc/init.d/amsdv restart
```

(*)Agentless Management Service (AMS)のステータスが不明(または利用不可能)の状態の場合、iLO Web インターフェイスの「System Information > Storage」や「System Information > Network」の一部の情報が取得できず、正しく表示されません。また、この影響により、ESMPRO/ServerManager による IML 監視やエクスプレス通報などが正しく行えない可能性があります。

● **物理ドライブの通報に関する注意事項**

論理ドライブを構成した環境で物理ドライブを取り外した際、物理ドライブ故障に関するエクスプレス通報は通知されません。
また、ESMPRO/ServerManager アラートビューアでは「物理ドライブのステータス変化検出」が通知されますが、仕様変更に伴い詳細欄のステータス値が「3」ではなく、「2」が表示されます。

(*) ステータス値の「2」は正常(OK)、「3」は異常(Failed)を示します。



● **LLDP に関する注意事項**

iLO Web インターフェイスの「iLO Dedicated Network Port > LLDP」において、「Link Layer Discovery Protocol」を有効に設定すると、同一ネットワーク上に LLDP サポート機器が存在せず隣接機器のデバイス情報の取得ができない場合に「LLDP 情報が見つかりません」と表示され、これ以降「Link Layer Discovery Protocol」の有効/無効の切り替えができなくなります。

万が一、設定変更ができなくなった場合には、「BMC Configuration Utility > Set to factory defaults」を実行し、出荷時のデフォルト設定に戻すことで解消できます。

● **ネットワーク情報表示に関する注意事項**

・iLO6 ファームウェアバージョン 1.75 以降の適用装置で、iLO Web インターフェイスの「システム情報 > ネットワーク」において、ネットワークポート情報が表示されない場合があります。
OS のツール(Windows Server:ipconfig、Red Hat Enterprise Linux:ip addr など)を使用して確認してください。

正常時の表示例

事象発生時の表示例

・iLO6 ファームウェアバージョン 1.75 以降の適用装置で、iLO Web インターフェイスの「システム情報 > ネットワーク」において、PCI スロットに同一型番の NIC が複数台搭載された場合、ネットワークポート情報内の IPv4 および IPv6 アドレスに「N/A」が表示される場合があります。
OS のツール(Windows Server:ipconfig、Red Hat Enterprise Linux:ip addr など)を使用して確認してください。

正常時の表示例

事象発生時の表示例

・iLO6 ファームウェアバージョン 1.75 以降の適用装置で、iLO Web インターフェイスの「システム情報 > ネットワーク」のアダプターごとに表示される「ネットワークポート」情報において、OS 起動後に LAN ケーブルが接続されていない場合の「リンクステータス」(LinkUp/LinkDown)の表示が正しくない場合があります。
リンクステータスは、OS(Windows Server:ipconfig、Red Hat Enterprise Linux:ifconfig 等のネットワーク情報確認ツール)から確認してください。

● サーバーブート順序設定の注意事項

iLO6 ファームウェアバージョン 1.75 以降の適用装置で、iLO Web インターフェイスの「管理 > ブート順序」において、[サーバーブート順序]からブート順序の変更はしないようにしてください。
[サーバーブート順序]からブート順序を変更した場合、再起動や電源オフ/オン後に以下いずれかの問題が発生することがあります。
・iLO Web インターフェイスで設定した[サーバーブート順序]の設定が保持されない。
・システムユーティリティで無効に設定していたブートデバイスが予期せず有効に設定され、[サーバーブート順序]に表示される。
・[サーバーブート順序]がデフォルト値に戻る、または予期せぬ設定に変更される。

ブート順序の設定変更は、RBSU の「Boot Options > UEFI Boot Settings > UEFI Boot Order」から実施するようにしてください。

● GPU に関する表示の注意事項

・iLO6 ファームウェアバージョン 1.75 以降の適用装置で、GPU が複数枚実装されている場合に、iLO Web インターフェイスの対象ページにおいて、下記に示す表示上の制約事項があります。
GPU の動作に影響することはありませんが、必要に応じて OS 環境上で nvidia-smi コマンドの出力結果を参照してください。
■nvidia-smi コマンド
nvidia-smi -q

(1)GPU に関する個体情報の表示不正

以下の表示項目に対応する表示内容が、「N/A」など不正な内容が表示されることがあります。その際は、nvidia-smi コマンドの出力結果を参照し、下表に対応する情報を読み取って代替してください。

※以下の表示内容例はあくまでも一例です。

対象ページ	表示項目	表示内容例 (正常時)	表示内容例 (不正時)	nvidia-smi コマンド出力の表示対応項目
システム情報 > デバイスインベントリ ※スロット詳細情報含む	製品名	NVIDIA RTXPRO6000Blackwell DC	NVIDIA RTX 6000 PRO	Product Name
	製品のバージョン	A1	N/A	GPU Part Number 末尾 2 桁 (GPU Part Number が「2BB5-895-A1」の場合、製品のバージョンは「A1」)
	ファームウェアバージョン	98.02.8D.00.01	N/A	VBIOS Version
	SKU	900-2G153-0000-000	N/A	Board Part Number
	部品番号	2BB5-895-A1	N/A	GPU Part Number
	シリアル番号	1323525431411	N/A	Serial Number
ファームウェア & OS ソフトウェア > ファームウェア	ファームウェア名	NVIDIA RTXPRO6000Blackwell DC	NVIDIA RTX 6000 PRO	Product Name
	ファームウェアバージョン	98.02.8D.00.01	N/A	VBIOS Version

(2)電力&温度のセンサー情報の表示

「電力&温度」の「温度」ページにおいて、Memory 温度センサー(例:56.2-XLR8R 9-Memory)の情報が表示されない場合がありますが、動作上問題はありません。

(3)電力設定における GPU 識別名の相違

「電力&温度 > 電力設定」における GPU 識別名が、「システム情報 > プロセッサ」における GPU 識別名と異なります。

対象ページ	表示ルール
システム情報 > プロセッサ	GPU インスタンス名に含まれる GPU 番号は 1 オリジン表示となります。 例: GPU2 枚搭載時、GPU1、GPU2 と表示されます。
システム情報 > デバイスインベントリ	GPU の PCI-E Slot 番号の低い方が GPU 番号の若番号に対応します。 例: PCI-E Slot 9 および 14 に GPU が 2 枚搭載されている場合、PCI-E Slot 9 が GPU1、PCI-E Slot 14 が GPU2 に該当します。
電力&温度 > 電力設定	GPU インスタンス名に含まれる GPU 番号は CPU 搭載数からの連番となります。 例: CPU2 枚、GPU2 枚搭載時、GPU3、GPU4 と表示され、1 オリジン表示に変換すると、GPU1、GPU2 となります。

■iLO Web インターフェイスに表示される GPU 個体情報と nvidia-smi コマンドで表示される GPU 個体情報の対応関係の確認方法

iLO Web インターフェイスに表示される GPU 個体情報と、nvidia-smi コマンドで表示される GPU 個体情報の対応関係を確認するには、以下の手順に従ってください。

以下では、PCI-E Slot 9 に搭載された GPU を例として、対応関係の確認手順を説明します。

① iLO Web インターフェイスのデバイスインベントリのスロット詳細情報を表示させます。

・ PCI-E Slot 9のスロット詳細表示例

ロケーション	スロット詳細	
PCI-E Slot 9	SKU	900-2G153-0000-000
	部品番号	2BB5-895-A1
	シリアル番号	1323525431411
	:	:
	セグメント/バス/デバイス/機能	0x0 / 0x82 / 0x0 / 0x0

② 「セグメント/バス/デバイス/機能」の「バス」に該当する部分の表示を確認します。

例 : 0x82

③　nvidia-smi -q コマンドを実行し、出力を確認します。
GPU カード搭載数に応じて「GPU ********:**:**.*」の形式で複数表示されますので、このうち 2 番目のフィールドが②で確認した「バス」と同じ値(16 進数)の行を探します。
例：**GPU 00000000:82:00.0**

④　③で特定した行以降の情報が①のロケーションに搭載された GPU カードの情報となります。

・　**nvidia-smiコマンド出力結果例**

```
==============NVSMI LOG==============

Timestamp                                   : Wed Jun 24 14:07:34 2026
Driver Version                              : 590.48.01
CUDA Version                                : 13.1

Attached GPUs                               : 2
GPU 00000000:72:00.0
    Product Name                            : NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition
    Serial Number                           : 1323525431246
    GPU Part Number                         : 2BB5-895-A1
    省略

GPU 00000000:82:00.0
    Product Name                            : NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition
    Serial Number                           : 1323525431411
    GPU Part Number                         : 2BB5-895-A1
    省略
```

● トップカバーオープン検知キット搭載時の通報に関する注意事項

N8115-47 トップカバーオープン検知キット搭載時にトップカバーを再装着すると、ESMPRO/ServerManager のアラートビューアにおいて、「システムフードの取り付け」アラートが同時刻で 2 回通報されます。2 回目の通報は重複通報のため、無視して問題ありません。

● 「iLO-BIOS communication issue」と表示された場合の注意事項

本体装置の電源投入もしくはシステムの再起動を実行した場合、まれに iLO と BIOS 間が不安定な状態になり、「Halted system due to iLO-BIOS communication issue.」のメッセージが表示され、装置起動時セルフテスト(POST)が停止し、OS が起動しない場合があります。

本メッセージが表示された場合、本体装置前面の POWER スイッチ(または、iLO Web インターフェイスにある Power アイコン)を押して電源をオフし、電源コードの抜き差しにより AC オフ/オンを行ってください。電源コードは、コンセントから外して、30 秒以上経過したのちに、コンセントに接続してください。
AC オフ/オンができない場合、iLO の再起動を実施した後に、<Ctrl>キーと<Alt>キーと<Delete>キーを同時に押すことでシステムの再起動を行ってください。

メッセージ表示の詳細

```
Halted system due to iLO-BIOS communication issue.
iLO freezes and cannot service the first packet.
See IML and Security Log for details.
```

4) OS に関する注意事項

● **Windows Server® OS ご使用時の注意事項**

Windows Server® 2025 のインストール後、「役割と機能の追加」などから Hyper-V 機能を有効化しないでください。
Hyper-V を有効化すると、iLO Web インターフェイスの「診断」メニューから「NMI を生成」を実行しても、メモリダンプを取得できません。
メモリダンプは、OS ハングアップやシステム障害発生時の原因調査・障害解析に必要な情報であるため、Hyper-V は有効化しないでください。

● **RAID 監視通報方式について**

VMware ESX において、RAID 監視通報は SNMP Trap を利用してください。
詳細は、下記の Web サイトを確認してください。

・NEC サポートポータル
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?&id=3140108419

5) 全般の機能に関する注意事項

● **「Halted system due to SPDM (Security Protocol and Data Model) component authentication failure」と表示された場合の注意事項**

システムの再起動を実行した場合、まれに以下に例示する SPDM 関連のエラーが発生して、OS が起動しないことや、電源投入時セルフテスト(POST)が完了しないことがあります。

例:
1. Halted system due to SPDM (Security Protocol and Data Model) component authentication failure
2. System halted due to Security Protocol and Data Model (SPDM) component authentication failure

この画面で停止した場合は以下のいずれかの方法でシステムを再起動してください。
・iLO Web インターフェイスより「Power & Thermal > Server Power > Virtual Power Button」の[Press and Hold]をクリック後、[System Power]が[OFF]になっていることを確認し、[Virtual Power Button]の[Momentary Press]をクリックしてください。

もしくは
・本体装置の POWER スイッチを 4 秒以上長押しし、POWER ランプ消灯を確認してから、再度 POWER スイッチを押してください。

```
Halted system due to SPDM (Security Protocol and Data Model)
component authentication failure.
See IML and Security Log for details.
_
```

● **サーバ診断カルテについて**

サーバ診断カルテは、対象製品の稼働状況を記録し、月ごとに稼働状態の診断カルテを提供するサービスです。
サーバ診断カルテの詳細は、Starter Pack 内の「サーバ診断カルテ セットアップガイド」を参照してください。

サーバ診断カルテの最新の情報および注意事項、制限事項については下記の Web サイトを確認してください。
サーバ診断カルテは最新版を使用することを推奨します。
■Windows 対応版
NEC サポートポータル(Windows 対応版)
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?&id=9010106809

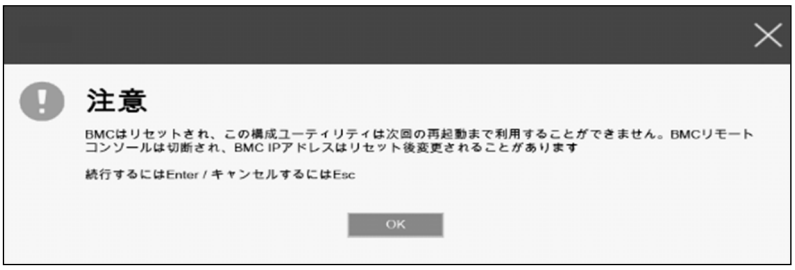
■VMware ESXi/ESX 対応版
NEC サポートポータル(VMware ESXi/ESX 対応版)
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?&id=9010107805

● **システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項**

システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での操作において、以下の①のポップアップが表示された場合は②以降の手順を厳守してください。
注意事項に従った操作を実施されない場合、「Memory Initialization - Start」のメッセージで POST 停止、あるいは対象サーバーに記録されている Serial Number、Product ID などが消失することがあります。
「Memory Initialization - Start」のメッセージで POST 停止した場合は、システムメンテナンススイッチ SW6 にて、システム設定をデフォルトに戻し、正常に起動することを確認してください。
SW6 の操作手順については、メンテナンスガイドの「7.4 システム設定情報の初期化」>「7.4.2 システムメンテナンススイッチの操作手順」を参照してください。
Serial Number、Product ID などが消失した場合の復旧方法は、メンテナンスガイドの「5.トラブルシューティング」>「5.11 補足事項」>「Serial Number、Product ID が消失してしまった」の項目を参照してください。

① システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」において設定の変更を行うと、iLO の再起動を行うために、次の Warning(注意)ポップアップが表示されます。

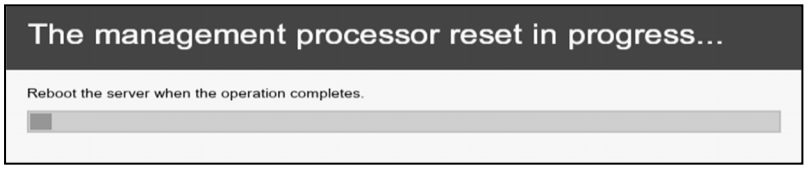
英語表示の場合



日本語表示の場合

② 「OK」を押して進めます。

③ iLO の再起動が開始され、次のプログレスバーが表示されます。
プログレスバーが表示されている状態で何も操作は行わず、必ず 3 分以上お待ちください。
3 分以内にプログレスバーが終了した場合でも、そのまま 3 分以上お待ちください。



英語表示の場合

日本語表示の場合

④ 3分以上経過後、以下を確認します。
A. 本体装置操作時
対象サーバー前面のステータスランプが緑色で点灯していることを確認してください。
- iLOが再起動中　　：ステータスランプが緑色で点滅(毎秒1回)
- iLOの再起動が完了し正常動作：ステータスランプが緑色で点灯
B. リモート(iLO Webインターフェイス)操作時
対象サーバーにログイン画面が表示されていることを確認してください。

⑤ ④において、iLOの再起動の完了を確認後、<ESC>キーを複数回押して、システムユーティリティ画面に戻ってください。

⑥ システムユーティリティの「Reboot the System」を選択して対象サーバーを再起動します。

■商標について

EXPRESSBUILDER®、ESMPRO®は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

AMD®、AMD EPYC™は米国Advanced Micro Devices, Inc.の登録商標です。

Linux®は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat®、Red Hat® Enterprise Linux®は、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware is a registered trademark or trademark of Broadcom in the United States and other countries. The term "Broadcom" refers to Broadcom Inc. and/or its subsidiaries.

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記のファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター
ＴＥＬ　　：0120-5800-72
受付時間　：9:00～12:00　13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日を除く)
※番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。

NEC
2026年8月　第1版
CBZ-068153-001-00